



和(なごみ)

100g入り1袋

630円 税込価格



賑賑し土産の中の新茶かな

(甲府) 小泉節子

旅行帰りであろうか。家族や近隣者や友人たちへの、旅先で求めたお土産の配分。その中にさわさわと音もやさしく、醜郁と香りを放つ新茶。有名な茶どころで購入したものであろうか。これからの喜びの交換が楽しみ。

母の日も父の日もありお茶届く

(山梨) 古屋理恵子

五月第二日曜日は母の日、六月第三日曜日は父の日。いずれも親に感謝を捧げる日。この行事は年々盛んになりありがたい。年長者であれば、その大多数はお茶の愛好者。折しも新茶の季節でもある。宅配便が忙しい。

金環食添ふて五十年新茶淹る

(上野原) 山口秀子

去る五月二十日は金環日食だった。このような規模の金環日食は、今後三百年後でないと見られないという。折しも本年金婚式のご夫婦。この神秘的なよき日に、さいさよい新茶を淹れて、家族みんなで楽しもう。

百歳の掌の揉み上げし新茶酌む

(上野原) 天野昭正

摘んだ茶の葉を蒸籠で蒸して焙炉にかけ、あぶりながら焙炉師が丹念に揉み上げる。それが百歳の心身共に元気なおばあちゃんだという。なんとも縁起のよい製茶。ご功德もさぞ大きからう。

新茶淹れ笑顔よろしき嫁と居り

(富士吉田) 青柳時子

「笑う門には福来たる」の諺のように、いつも笑い声が溢れる家庭には幸せが集まってくる。明るく笑顔の美しいお嫁さんを迎えたご家庭。新茶を汲みながらも笑顔が洩れる。類は類を呼び、笑顔が笑顔を呼ぶ。

佳作

新茶汲みつきぬ話の昭和かな

(甲州) 山本登志子

祖母卒寿乾杯の手に新茶かな

(天月) 湯沢 正枝

摘みたての新茶の香る店の前

(甲斐) 石川 凡夫

著莪の花茶筌さばきの母偲ぶ

(甲府) 三枝 風樹

こだわりの新茶ポットに脇机

(上野原) 小山 泰子

禅寺に甘茶携え仏生会

(都留) 磯村 桂泉

霧深き我が家の畑に新茶摘む

(上野原) 足立 一男

新茶来て子と孫が来て誕生日

(甲府) 小泉 一布

新茶汲む今は阿吽の二人かな

(天月) 湯沢 正典

みちのくの旧知へ甲斐の新茶かな

(天月) 武川 幹雄

職に就く吾子の新茶に茶柱が

(甲府) 中村 彰

富士仰ぎ摘む手しなやか一番茶

(甲府) 米山 正雄

汗拭ふ同級生の茶摘歌

(身延) 小林 利典

静けしや番茶注ぐ首夜の秋

(甲府) 藤原 時男

五月晴のどかに聞こえ茶摘み歌

(甲州) 古屋 福治

憂きことも新茶届きて良しとせむ

(都留) 渡辺 信子

次回作品募集のご案内

● 次の応募締切は九月三十日(日)消印有効になります。

● テーマは暑い夏、子供達の夏休み風景やお年寄りの避暑など身近にある景色の中で、お茶や紅茶などを折り込んだ俳句を募集します。

● 応募頂いた作品の中から優秀な作品には素敵なプレゼントを用意しています。発表は年四回新聞広告にて発表します。

● 選者は県内で俳句活動を行っている渡辺柳風先生にお願いいたします。

(先生には選考にあたり表現上の添削もお願いしております。ご了承下さい)

● ハガキで愛和園本店まで郵送していただくか、左記直売店までお持ちください。お一人様何点でも応募できます。● 応募いたたく作品は未発表の物に限ります。また、応募作品は返却いたしません。● 作品には応募者の住所、氏名、年齢、電話番号を記入してください。ペンネームで応募される方はペンネームの下に(本名)を括弧で囲んでください。

味と香りのコミュニケーション

ひじわ園

本店

山梨県甲府市太田町四一七
TEL:055(2635)5075

直売店

■ 太田町本店 ■ ジョイ店 ■ 湯村店
■ 山交店 ■ リバーシティ店

ひじわ園

応募いたたく個人情報に入選作品のプレゼント発送に利用します。また、愛和園からの季節のお知らせにも利用させていただきます。必要でない方は、その旨応募時のハガキ表面に記入願います。この目的以外での個人情報の利用は行いません。